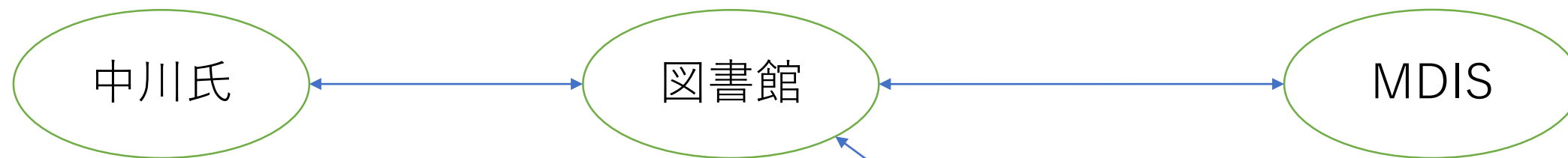


# 岡崎市中央図書館 大量アクセス事件とは



①プログラムを用いて、  
図書館の新着図書を  
自動で収集しようとする。

⑤プログラムを変更する。

②MDISに相談。

④警察へ連絡。

⑧警察に被害届を  
提出。

③新着図書ページ名を変更。

⑥大量アクセスしているサーバー  
からのアクセスを遮断。

⑦図書館に被害届を出すか  
確認。

⑨中川氏を逮捕。

# この事件の真相とそれぞれの考え

## この事件の真相

中川さん逮捕後の調査により、図書館のサーバーが停止した原因はMDISが図書館に提供した**図書館システム**であることがわかった。

## それぞれの考え

中川氏

毎秒1回の**シリアルアクセス**で図書館のサーバーが落ちることはないと考えていた。

図書館

毎秒1回のアクセスは大量アクセスに相当し、中川さんの逮捕は**正当である**と主張した。

警察

プロならサーバに障害が発生していることに**気づくべきだ**と主張した。

# この事件から得た教訓

- ①図書館員がITに関する基本的な知識を身につける。
- ②セカンドオピニオンを活用する。
- ③常に万が一の事態に備える。
- ④Webサービス利用者と来館者を対等な利用者と見なす。